

評 価 結 果

施設名 (施設所在地)	東京都石神井学園 (東京都練馬区石神井台3-35-23)	施設種別	児童養護施設
指定管理者	社会福祉法人東京都社会福祉事業団		

二次評価	B
------	---

項目	評価内容
総評	当該施設に必要な管理運営業務を概ね適切に遂行している。
評価の ポイント等	○虐待による重篤な愛着障害等の症状を有する児童を対象として、生活支援・医療・教育を一体的に提供する「連携型専門ケア機能事業」を令和7年度から本格実施し、公的役割を担う施設としての使命を果たした。 ○児童の意見表明権を保障するため、外部講師による職員研修を実施し児童の声に向き合う姿勢や知識の向上を図るとともに、児童の相談先の周知や意見箱を6か所増設するなど、声を出しやすい環境づくりに重点的に取り組んだ。また、満足度調査や日々の声を踏まえ、スマートフォン所持や行事内容の見直しなどを図った。 ○家庭復帰、進学・就職、障害福祉サービスの利用など、児童一人ひとりの状況に応じた自立支援を行うとともに、NPO 法人や企業の協力を得た生活講座を開催するなど、退所後を見据えた支援を進めた。また、退所後も、家庭訪問や個別相談、退園生行事等を通じて施設とのつながりを維持し、社会的自立を支えるアフターケアの充実を図った。 《要改善事項等》 ※対応済 ○職員による児童に対する不適切な対応があった。園全体で支援の振り返りを行い、園としての考え方を検討・整理し、全寮において各職員へ確実に伝達を行うなど、支援の充実に向けて取組改善を図った。 《特命要件の継続》 ○公的役割を果たす施設として、都の政策との連動性及び管理運営の特殊性が高く、利用者への長期的な安定したサービス提供が求められるため、特命要件は継続している。

評 価 結 果

施設名 (施設所在地)	東京都小山児童学園 (東京都東久留米市野火止2-22-26)	施設種別	児童養護施設
指定管理者	社会福祉法人東京都社会福祉事業団		

二次評価	B
------	---

項目	評価内容
総評	当該施設に必要な管理運営業務を概ね適切に遂行している。
評価の ポイント等	○外部講師による児童の意見表明支援に関する研修等を通じ、児童の意見や意思を尊重した支援計画の策定やサービスの提供に真摯に取り組んだ。こうした取組により、第三者評価における児童への聞き取り調査では「児童の気持ちや意見を尊重してくれる」と肯定的に回答した割合が9割を超えた。 ○情緒や行動面に課題のある中高生を積極的に受け入れ、高校生寮での生活支援や丁寧な進路指導、退所後の継続的な支援を行うことで、高年齢児童の自立を支えている。 ○園舎改築及び新設グループホーム2か所の開設に向け、関係者の意見集約を着実に進めるとともに、近隣住民や入所児童への丁寧な説明、児童の意向を踏まえた移寮準備等により、改築・開設に向けた準備を円滑に進めた。 《 要改善事項等 》 ※対応済 ○職員による児童に対する不適切な対応があった。園全体で業務の見直しや支援の振り返りを行うとともに、研修・OJT等を通じて全職員で支援方法を共有するなど取組の改善を図った。 《 特命要件の継続 》 ○公的役割を果たす施設として、都の政策との連動性及び管理運営の特殊性が高く、利用者への長期的な安定したサービス提供が求められるため、特命要件は継続している。

評 価 結 果

施設名 (施設所在地)	東京都船形学園 (千葉県館山市船形1377)	施設種別	児童養護施設
指定管理者	社会福祉法人東京都社会福祉事業団		

二次評価	A
------	---

項目	評価内容
総評	当該施設に必要な管理運営業務を適切に遂行しており、優れた取組も認められる。
評価の ポイント等	○権利擁護委員会を中心に、苦情相談箱の名称やイメージキャラクターを児童の募集・投票で決定してリニューアルした結果、子どもが意見や要望を表明しやすい環境が整い、投函数が大きく増加する成果につながった。 ○OB職員による研修を通じて、児童養護施設における不適切な関わりやマルトリートメントへの理解を深め、子どもの最善の利益や権利条約の理念を踏まえた支援の重要性を再確認したことで、日々の支援における職員の意識と対応の質の向上につながった。 ○地域の基幹的病院の小児科医師によるスーパーバイズ研修を通じて、職員の支援力向上や医療機関との連携強化を進めた。また、地域施設向けの公開講座を開催し、施設内の支援力向上にとどまらず、地域全体の支援の質の向上に寄与するなど、地域貢献の役割を果たしている。 《 特命要件の継続 》 ○公的役割を果たす施設として、都の政策との連動性及び管理運営の特殊性が高く、利用者への長期的な安定したサービス提供が求められるため、特命要件は継続している。

評価結果

施設名 (施設所在地)	東京都八街学園 (千葉県八街市八街に151)	施設種別	児童養護施設
指定管理者	社会福祉法人東京都社会福祉事業団		

二次評価	A
------	---

項目	評価内容
総評	当該施設に必要な管理運営業務を適切に遂行しており、優れた取組も認められる。
評価の ポイント等	○児童が自分の将来を考え、可能性を広げられるよう、NPOと連携してセミナーや就労体験を実施し、進路や職業選択の幅を広げる取組を行った。特に、VRT(職業レディネステスト)等の児童の興味や関心を可視化できるツールを活用し、将来のビジョン形成支援につなげた。 ○マルトリートメント防止やアンガーマネジメント等の研修、事例検討会や有識者によるコンサルテーションを実施し、ケアニーズの高い児童への支援スキルやアセスメント力の向上を図った。また、夜間支援体制を強化し、突発的な児童対応時の人員体制を補完することで、職員の心理的安全を高め、安定した支援につなげた。 ○グループホーム開設に向け、PTを計画的に開催し、図面検討や意見交換を重ねることで、児童にとってより良い生活環境の整備を具体的に進めた。また、既設のグループホームの課題を見直し、児童自立支援施設から児童を受け入れるなど、都立施設として求められる役割を確実に果たした。 《特命要件の継続》 ○公的役割を果たす施設として、都の政策との連動性及び管理運営の特殊性が高く、利用者への長期的な安定したサービス提供が求められるため、特命要件は継続している。

評 価 結 果

施設名 (施設所在地)	東京都勝山学園 (千葉県安房郡鋸南町下佐久間1469)	施設種別	児童養護施設
指定管理者	社会福祉法人東京都社会福祉事業団		

二次評価	A
------	---

項目	評価内容
総評	当該施設に必要な管理運営業務を適切に遂行しており、優れた取組も認められる。
評価の ポイント等	○発達障害や精神疾患のある児童が増えている状況を踏まえ、発達臨床センターや心理臨床センターでの講義受講・見学を通じて、医療だけに頼らない支援方法への理解を深めた。専門的な知見を支援に活かすことで、児童の特性に応じた対応力を高め、支援の質の向上につなげた。 ○園独自の「ほんとのきもちアンケート」や子ども会議を通じて、対面では意見を伝えるにくい児童も含め、児童の思いや要望を丁寧に把握している。把握した意見は、職員のメッセージを添えて児童へ返すとともに、生活ルールの見直しや寮行事の検討などに反映し、児童の意向や意見を尊重した支援につなげている。 ○地域との共生を重点取組の一つに位置付け、施設開放や防災訓練、学園行事、地域祭礼等を通じて地域住民との交流・連携を深めた。こうした取組により、児童は地域から温かく見守られながら様々な経験を重ねるとともに、園としても災害時の相互応援や環境美化活動等を通じて、地域の一員としての役割を果たしている。 《 特命要件の継続 》 ○公的役割を果たす施設として、都の政策との連動性及び管理運営の特殊性が高く、利用者への長期的な安定したサービス提供が求められるため、特命要件は継続している。

評価結果

施設名 (施設所在地)	東京都片瀬学園 (神奈川県藤沢市片瀬4-9-38)	施設種別	児童養護施設
指定管理者	社会福祉法人東京都社会福祉事業団		

二次評価	B
------	---

項目	評価内容
総評	当該施設に必要な管理運営業務を概ね適切に遂行している。
評価の ポイント等	○支援者支援を重点取組に位置付け、各寮の状況に応じて職員同士が寮を超えて助け合える体制づくりを進めた。緊急時だけでなく、早めの対応が必要な場合にも気軽に応援を求められるよう周知したことで、実際に他寮へ応援に入る機会が増えるなどの成果を上げている。 ○退所後に安定した生活が送れるよう、児童個々のニーズを把握し、自立支援担当職員を中心に関係機関と早期から連携して支援を行っている。また、家庭復帰が望ましいケースでは、家庭支援専門相談員が家庭訪問や親子宿泊、児童相談所との交流調整を行い、家庭の不安に丁寧に対応することで家庭復帰につなげた。 ○児童が地域の中で安心して暮らせるよう、町内会や青少年育成協力会、民生・児童委員等と連携して見守り体制を整えるとともに、地域行事への参加や園祭の開催など地域住民と関わる機会を多く設けることで、地域社会で生活する力を育成している。 《要改善事項等》 ※対応済 ○職員による児童に対する不適切な対応があった。園全体で支援の振り返りと再発防止に向けた意識づくりを行うとともに、各寮において職員間の情報共有を強化するなど、支援の充実に向けて取組改善を図った。 《特命要件の継続》 ○公的役割を果たす施設として、都の政策との連動性及び管理運営の特殊性が高く、利用者への長期的な安定したサービス提供が求められるため、特命要件は継続している。

評価結果

施設名 (施設所在地)	東京都東村山福祉園 (東京都東村山市萩山町1-35-1)	施設種別	福祉型障害児 入所施設
指定管理者	社会福祉法人東京都社会福祉事業団		

二次評価	B
------	---

項目	評価内容
総評	当該施設に必要な管理運営業務を適切に遂行している。
評価の ポイント等	○自閉症スペクトラム児童への「構造化」の取組を学ぶ機会を設けたことで、職員の障害理解や支援方法の共有が進み、支援の基本的な考え方として園内に定着している。あわせて、絵カードやコミック会話など、児童一人ひとりの理解力に応じたコミュニケーションツールの活用も広がり、より分かりやすく安定した支援につながっている。 ○保育士・社会福祉士養成学校等の実習生をはじめ、特別支援学校教員や児相職員等の研修交流・施設実習を積極的に受け入れ、園が有する専門的支援技術を実践的に伝えることで、福祉人材の育成を推進した。 ○強度行動障害に関する専門研修へ職員を計画的に派遣するとともに、基礎研修・実践研修の受講を積極的に進めた。受講した職員が園内でミラー研修を実施し、学んだ知識や支援方法を他職員へ共有したほか、他県団体や他事業所の事例も学ぶことで、園全体の支援技術の向上につなげた。 ○全職員を対象とした虐待防止研修の徹底やセルフチェック・アナザーチェックアンケートを実施したほか、緊急時の応援体制や機動的な勤務体制が確保できる仕組みづくりを行う等、環境面の整備を進めた。 ○R6における虐待を踏まえ再発防止策の取組を進めており、改善が図られているが、今後、さらに質の高い支援を目指し、虐待防止の取組を一層強化されることを期待する。 《特命要件の継続》 ○セーフティネットとしての都立施設の役割を果たすため、利用者支援及び施設運営について安全性と継続性を考慮していく必要があり、特命要件は継続している。

評 価 結 果

施設名 (施設所在地)	東京都七生福祉園 (東京都日野市程久保843)	施設種別	福祉型障害児 入所施設 障害者支援施設
指定管理者	社会福祉法人東京都社会福祉事業団		

二次評価	A
------	---

項目	評価内容
総評	当該施設に必要な管理運営業務を適切に遂行しており、優れた取組も認められる。
評価の ポイント等	○就労移行支援の実績を活かし、本人の希望や適性に応じた「就労選択支援事業」の令和8年4月からの開始に向けて、体制整備や関係機関との調整を綿密に進め、開設準備を着実に進めた。 ○東京都で開催された世界陸上およびデフリンピックにおける遠隔操作ロボット「OriHime」を活用した障害児のリモート参加事業や東京都主催のバーチャルスポーツ出前講座に成人利用者が参加し、普段経験することのできない貴重な機会を提供した。 ○生活の各場面で実際に職員が困った事例を基に、声のかけ方や対応方法をまとめた「ななおスタンダード」を作成し、各寮の勤務室に設置し、日々の支援や勉強会などで活用し職員の支援力向上につなげている。 ○児童支援部門・成人支援部門において、「ななお再発見」や「ワールドカフェ」を実施し、部門や寮を越えた職員交流と意見交換を進めた。日頃の支援や園の課題を共有することで、職員相互の理解が深まり、部門間連携が強化された。特に、新採職員等の学びや相談の場として機能し、若手職員の育成と職場定着の促進に繋がった。 《 特命要件の継続 》 ○セーフティネットとしての都立施設の役割を果たすため、利用者支援及び施設運営について安全性と継続性を考慮していく必要があり、特命要件は継続している。

評価結果

施設名 (施設所在地)	東京都千葉福祉園 (千葉県袖ヶ浦市代宿8番地)	施設種別	福祉型障害児 入所施設 障害者支援施設
指定管理者	社会福祉法人東京都社会福祉事業団		

二次評価	B
------	---

項目	評価内容
総評	当該施設に必要な管理運営業務を概ね適切に遂行している。
評価の ポイント等	○「KYT+」(利用者の気持ちを読む訓練)の実施に加え、各寮で支援上ストレスが高まりやすい場面を抽出したロールプレイングや、課題改善考察シートを活用した事案検討を計画的に行った。これにより、職員の虐待防止に対する意識と気づきが高まり、リスクの早期把握や支援方法の見直しが進むなど虐待防止体制の強化に繋がった。 ○日中活動において、「寮プログラム」「センタープログラム」等に加え、今年度から新たに、ファッションセンターしまむらの協力による園内出張販売会を年2回、計4日間開催した。外出が困難な利用者も園内で買い物を楽しめる機会を創出し、生活の楽しみや選択の幅を広げる取組となった。 ○桜の開花時期に合わせてメインストリートを開放し、「さくらういーぐりー」を開催した。近隣の高齢者施設の入居者をはじめ地域の方々が来園し、利用者とともに桜を楽しみながら交流した。園を地域に開かれた場として活用し地域との共生を進めている。 《要改善事項等》※対応済 ○職員による入所利用者への不適切な対応があった。施設全体での支援の振り返りや利用者の特性に応じた適切な支援方法の検討を行ったほか、各寮でストレスフルな状況を抽出しロールプレイング実施するなど、権利擁護の徹底を図った。 《特命要件の継続》 ○セーフティネットとしての都立施設の役割を果たすため、利用者支援及び施設運営について安全性と継続性を考慮していく必要があり、特命要件は継続している。

評 価 結 果

施設名 (施設所在地)	東京都八王子福祉園 (東京都八王子市西寺方町76)	施設種別	障害者支援施設
指定管理者	社会福祉法人東京都社会福祉事業団		

二次評価	A
------	---

項目	評価内容
総評	当該施設に必要な管理運営業務を適切に遂行しており、優れた取組も認められる。
評価の ポイント等	○強度行動障害研修(基礎・実践)をはじめとする各種研修への積極的参加や、喀痰吸引の資格取得者の養成を進めるとともに、コンサルテーションを活用して強度行動障害のある方の行動分析や支援方法の見直しに取り組むなど、高い専門性を持つ職員の育成に努めている。 ○利用者の意向や思いを尊重し、特性や生活背景に応じて、絵カードや写真等の非言語的コミュニケーション手段を活用するなど、本人にとって分かりやすい方法で意思表出及び相互理解を促進する等、個別性の高い支援を実施している。 ○重度・最重度の知的障害者の入所施設であり、本人の意思確認が難しい中でも、ソーシャルワーカーや担当職員が調整を図り、GHや通所先の見学及び体験利用を重ねることで本人の意向を推察し、より良い生活の実現に向けた支援を行った結果、1名のGHへの地域生活移行を実現した。 ○仮設建物への一時移転に向け「仮設移転の推進に係るPT」を5チーム(棟再編成、環境整備、園内連携、人材支援、移転調整)立ち上げ、大小様々な課題に対し検討・丁寧に対応することで、園にとって大きな節目となる一時移転の準備を着実に進めた。 《 特命要件の継続 》 ○セーフティネットとしての都立施設の役割を果たすため、利用者支援及び施設運営について安全性と継続性を考慮していく必要があり、特命要件は継続している。

評 価 結 果

施設名 (施設所在地)	東京都立東大和療育センター (東京都東大和市桜が丘3-44-10) 分園よつぎ療育園 (東京都葛飾区東四つ木4-44-1-101)	施設種別	医療型障害児入 所施設 療養介護事業所
指定管理者	社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会		

二次評価	B
------	---

項目	評価内容
総評	当該施設に必要な管理運営業務を適切に遂行している。
評価の ポイント等	○利用者一人ひとりの状態や課題を各部門で共有し、多職種が連携しながら支援方針を検討している。支援計画についても、各専門職の視点を踏まえて策定・評価し、必要に応じて見直ししながら、利用者の状況に応じた医療・療育の提供につなげている。 ○利用者の希望を取り入れた活動を行うとともに、季節の創作活動やチーム対抗の野球ゲーム、音楽療法など、多様な療育活動を実施している。こうした取組を通じて、利用者が人との関わりや季節感を感じながら、生活の楽しさや豊かさを実感できる療育を進めている。 ○利用者一人ひとりの摂食嚥下機能や体調に応じ、食形態や介助方法に配慮した食事提供を行っている。療育活動においても、医療的な視点も踏まえ、安心して過ごせる療育環境づくりに取り組んでいる。

評 価 結 果

施設名 (施設所在地)	東京都立東部療育センター (東京都江東区新砂3-3-25)	施設種別	医療型障害児入 所施設 療養介護事業所
指定管理者	社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会		

二次評価	B
------	---

項目	評価内容
総評	当該施設に必要な管理運営業務を適切に遂行している。
評価の ポイント等	○利用者一人ひとりの状態や課題を、医療・療育・生活支援などの各部門で丁寧に共有している。また、各専門職の視点を踏まえて個別支援計画を策定し、中間評価・年間評価を通じて見直している。多職種が連携して支援内容を確認することで、状態に応じた支援の充実につなげている。 ○利用者の反応や保護者からの要望・意見を丁寧に聴き取り、関係機関とも連携しながら支援体制を整え、日々の支援内容の改善につとめている。また、季節感のある献立やイベント食等の導入などにより、利用者満足度の向上につなげている。 ○令和7年度に認定看護師による看護相談室を開設し、在宅ケアに関する相談支援を開始した。医療的ケアや在宅療養に関する相談を受けることで、利用者や家族の不安軽減につなげている。